

社協だより 萩

Vol. 61

2015
4/1



子どもたちが
のびのび育つ環境を

5月は「児童福祉月間」です。最近子どもたちが外で遊ぶ機会も減ってきているようですが、子どもたちが元気に育っていく環境を整えるのは、私たち大人の責任です。
保育園や幼稚園、学校や地域で子どもたちを見守る活動も増えています。

シリーズ「地域から」

今、小地域福祉活動は…

地域で生活する中で、「ゴミ出しがたいぎになった」「買い物に行きづらくなった」といったような課題を抱えている方も少なくありません。実は、その課題が個人だけでなく、地域全体の課題になっていることもあります。そのようなことに対して、一人で考えるのではなく、地域の住民が関わることによって、解決できることもあるはずです。社協では、地域の課題を見つけ、そこに住む地域住民で解決していくことができるように、小地域福祉活動を展開してきました。

今回は、紫福地区の活動を報告します。



安心して暮らせる 紫福をめざして

紫福地域福祉活動推進委員会

副会長 岡 千代子

● 取り組みのきっかけ

住んで良かったと思える地域にするには、どうすればいいか迷っていた頃、社協からの提案もあって取り組むことにしました。

● みんなの思いを知るために

各集落に出向き、軽い気持ちで呼びかけ、集まりを持ち、「住んでいる人たちのこと、危険な所、残した

ところ、困っていること」などを出し合い、意見をまとめマップづくりをしました。

● 課題解決の一步として

生活環境の問題をはじめ、多くの課題が出ましたが、その中で田舎ではお互いの助け合いが大切、しかし最近集まりが少なく、人と人との絆が薄くなったとの意見が多く出ました。

そこで、早速集落にサロンの開設を呼びかけ、集まる機会を多くし、気心の知れた仲間づくりに取り組むこととしました。

また、地域全体のサロンの活動を応援するため、年一回サロン交流会を開催し、情報交換等の場を設けて



います。

高齢者の見守り活動として、75歳以上のひとり暮らしの方の誕生日訪問を実施しています。足腰が悪く、外出が困難で話す機会も少ない方は、「今日は久しぶりに話ができて、あちらこちらの情報を知ることができた」と大変喜んでいらつしやいます。訪問後は、委員全員で協議を重ねて、次への活動の参考にしています。

● これからの活動

過去5年間、迷いながら他地域の活動を参考にしてきました。

高齢化の進む中、ちよつとした手助けができるような支え合いの仕組みづくりを検討します。

この活動が地域全体に理解されるように、このたび名称を「ささえ愛ねつと紫福 ほほえみ」と優しい言葉にし、これからさらに活動を広めていきたいと思っています。

地域のあんしんのために

平成26年度の町内会総会で、組織の見直しが行われ、福祉部が新設されました。設置当初、部としてどんな活動に取り組み、どのように進めていけばいいのか、いろいろ迷っていました。

そして、見守りが必要な方や気になると思われる方を把握するため
に、マップに落とし、実態を確認し
た上で、普段の見守り方法を考える
いくことになりました。

江向一区のマップを広げて、町内に住んでいる方の状況について話し合いました。この情報をもとに見守

思われる
方々につい
て、マップ
に落とし込
んでみた
ところ、町内
全域にいら
っしゃるこ
とが分かり
ました。



福祉部だけで見守り活動を考えていましたが、このような状況を踏まえ、また今後のことも考えて、見守り活動の第一歩として、平成27年度から町内会の回覧や各種行事などを通じて、気がかりな状況があれば、民生委員や町内会長などに情報提供するよう、協力を呼びかけ、地域全体で見守り活動に取り組んでいこうと話し合っています。

福祉部の活動の一環として、3月に萩市消費生活センターから講師を迎え、江向全区に呼びかけてセミナーを開催し、終了後に引き続き、試みとしてサロンを行ってみました。

初めてのサロンは、手探り状態での開催となりましたが、今後もサロンの継続開催に向け、地域での話し合いを進めていきます。



緊急連絡あんしんカードの取組みを始めて、5年が経ちます。このカードは、地域の民生委員と地区の在宅介護支援センター職員が配布しています。

緊急搬送されたとき、必要な情報が分かるようにするため、毎年、自分のことを書き込むことにしています。

今年は、桃色のカードを配付します。

[illegible]

●カードは冷蔵庫の前扉に貼ってください。



大井港
町内会

声かけしよう！ 徘徊模擬訓練



3月15日に大井港町内会で「徘徊・見守りSOSネットワーク」を活用し、徘徊模擬訓練が行われました。

当日は、徘徊役をされた方に対して、地域の方から身体のことを気づかったり、ゆっくり話しかけたりとやさしい声かけが多くありました。

また、家族役の方は警察に行き、友人関係や服装、個人がよく行く



場所などを聞かれて、「本当の家族でも普段、気にかけていないことが多いことに改めて気付いた」と話されていました。

今回の訓練に参加された方からは、「もしもの時には警察に早く相談することも大切だね」という声が聞かれました。

認知症の方だけでなく、その家族の方への思いやりや地域のつながりの大切さを感じられた方も多かったようです。

「ぱ・た・か・ら」ことば

本会では、平成18年度から歯科医師会、地域包括支援センターと連携して、口腔ケアを地域の高齢者に普及してきました。

昨年末、萩に関するもの、「ぱ・た・か・ら」のいずれかが入っていることを条件として募集した「歯あわせ健口遅口言葉」に、9歳から92歳まで75点の応募がありました。その中から9点の作品が3月1日に開催された「歯あわせ健口の集い」で表彰されました。

歯あわせ健口遅口言葉入賞者

「萩で賞」	船戸 萌 加さん
「維新で賞」	佐々木 千佳子さん
「いつもやっているで賞」	齊藤 洋子さん
「50音賞」	角屋 喜代枝さん
「物知りで賞」	山根 壽代さん
「花燃ゆ賞」	田中 好江さん
「ポエム賞」	齊藤 彩華さん
「がんばって賞」	杉尾 美春さん
「大島CM賞」	國光 チエ子さん



今回、応募された中から「歯あわせ健口遅口言葉」を新たに作りしました。

※「ぱ・た・か・ら」と発音することで、口の周りの筋肉、舌、唇のトレーニングとなり、むせることが少なくなります。



被災者に寄り添う

一昨年の災害から、田万川・須佐地域に生活支援相談員を設置しました。相談員は、「相談ごとや小さなつづやきを拾い」「福祉問題にとらわれず、話を聞き」「一人ひとりの心に寄り添う」活動をしました。

これからは、地域のひとりとして様々な活動を行っていきます。

訪問活動から

佐々木 弘子

訪問活動を行うにあたり、悲惨な状況の中、皆さんにどのように声をかけたらよいのか、不安な気持ちでした。しかし、皆さんの声は、多くの災害ボランティアの方々や地域の方の温かいご支援などに対して、お礼の言葉ばかりでした。月日が経つにつれ、疲れと雨の恐怖の思いで涙される姿にも出会い、胸の詰まる思いがしました。



集団支援を通じて

須川 眞悟

水害で被災された高齢者の方々に、元気を取り戻していただくため、昨年の12月に、小川・江崎地域に分けて「ふれあい昼食会」を行いました。

小川地区では、小学校の子どもたちの参加も得て、音楽療養士の宮崎先生と歌ったり、楽器を使ったゲームを通して、多くの笑顔を見ることができま

した。また、地元のボランティアグループ「ふたば会」も趣旨をご理解くださり、昼食の豚汁を準備いただくなど地域の方々の協力によって集団支援ができたかと思っています。

これからも、この昼食会に参加できなかつた被災者の方々にも機会を得て、この小川地域で楽しい生活を営んでいただけるよう努めて行きたいと思っています。

仮設住宅の訪問

波田 富男

仮設住宅に入居された方々を訪問し、困りごとや生活のしづらさなどの聞き取りから始めました。そして、気になる世帯は再訪問し、会議で検討のうえ、必要に応じて関係機関などにつなぐ活動に関わりました。被災時の状況等、話を聞くと一瞬のことで、自分の身を守ることでだけ大変であったことを痛切に感じられました。

また、特に仮設住宅への入居者は、我が家への想い、これからの生活への悩みも多く、眠れない夜が多かつたようでした。

現在は、市営住宅や自宅へと帰られました。健康で明るく安心して生活されるように願うばかりです。そのためにも、地域で、地域を守る

活動が大切になってくると思います。私も地域の一員として、役に立ちたいという想いでいっぱいです。

地域のひとりとして

笠内 榮子

豪雨災害から早1年7か月が過ぎました。

今日では、被災世帯も落ち着いた生活をされるようになりましたが、それでも大雨が降り、またあのような災害が起こるのではないかと、どこへどのようにして避難しようかと、いつも大きな不安が付きまとっているのも現実です。

今でも精神的にショックがひどく、人なかに出るのも億劫になったり、体調を崩された方もおられます。あれから家は解体され、空き家が増え、店舗も少なくなり町中は様変わりしましたが、それでも「やっぱりここが一番ええ、この須佐に住みたい」という強い思いが伝わってきました。今、復旧復興に向けて、あらゆる所で工事がされています。多くの皆さんが住み慣れたまちで、一日でも長く安心して生活できることを切望しておられます。

地域のひとりとして、活気あるまちになることを祈りながら、これからも見守っていききたいと思っています。

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成27年1月1日～2月28日受付分（敬称略）

氏 名	住 所	備 考	金 額
萩			
米屋 直茂	三見浦3	父／圭次	金一封
坂 悠太	中ノ倉の1	母／純子	金一封
中村 嘉子	雑式町	夫／三津雄	金一封
藤田アキ子	後小畑の3	夫／守	30,000円
堀 孝道	平安古西区の3	父／康德	金一封
山根 幸博	平安古西区の1	母／シゲ子	金一封
山根 信正	三見河内	母／サチ子	金一封
大田 徳美	大屋の2	母／貞子	150,000円
齋藤 浩司	中津江の1	父／文夫	金一封
藤田 茂明	三見明石	父／弥一郎	金一封
梅津 晋一	河添の2	父／尚年	金一封
松永 勝義	大島東	母／ミサコ	金一封
古谷 哲司	大井港中	母／フミエ	金一封
坂村 秀子	三見中山	夫／豊	金一封
中村かほり	今古萩町の2	夫／雄一	金一封
中野 政康	相島中	父／千松	金一封
大森 晴美	相島上	夫／雅之	金一封
廣石 安江	細工町	夫／一雄	金一封
増田 昌子	江向2区の1	母／嶋本美智子	金一封
西山 和夫	北木間	母／幸子	金一封
菊屋 勝美	見島9区	父／茂雄	金一封
木村 博昭	見島11区	父／正八	金一封
濱村 正義	見島12区	母／セキ子	金一封
川 隆	見島12区	母／フジ子	金一封
匿名			100,000円
水津 和典	大井土井	父／英男	金一封
来島 元政	玉江2区の1	妻／美智江	金一封
山下 秀行	相島上	母／トシエ	金一封
久保 芳雄	東田町東区の2	母／千代子	金一封
原 節夫	堀内1区の3	次男／昌彦	金一封
田中 保晴	玉江浦2区の1	母／アヤコ	金一封
烏田 清作	中ノ倉の2	母／昌子	金一封
住田 勝政	無田ヶ原の1	妻／照恵	金一封
森川 優子	平安古東区の2	母／市本サトヨ	金一封
三井 正一	大井浦下	妻／笑子	金一封
河村 修平	堀内1区の3	母／タミ子	金一封
伊藤 健	土原1区の3	母／シゲ子	100,000円
福部 俊英	三見石丸	父／嘉行	金一封
竹内 尚子	大井港浜の2	父／一夫	金一封
橋本 孝子	平安古西区の2	夫／七郎	金一封
阿曾沼和代	椎原の2	母／石戸京子	金一封
竹内 政春	見島11区	父／三介	金一封
田中 正良	上野の1	妻／美緒子	金一封

氏 名	住 所	備 考	金 額
川 上			
神崎 克己	三徳	母／ヨシ子	金一封
柴田 帝治	白上	妻／恵美子	金一封
田 万 川			
田中 邦雄	北九州市小倉南区	母／澄代	金一封
大田 安子	稗田	夫／昭正	金一封
田村 繁憲	小川22区	祖母／カメヨ	金一封
角谷 毅	下関市一の宮町	父／利一	金一封
河村 宏	小川3区	父／尚是	金一封
江崎屋政美	弁天	父／勇	金一封
立野 良弘	戎二	父／憲道	金一封
嶋 徳康	小川6区	父／千早人	金一封
川下 正行	山陽小野田市小野田	母／トメ	金一封
右田 覚	岩国市周東町	母／孝子	金一封
長谷川富枝	要二	夫／節男	金一封
戎本 昌信	湊	母／アサ子	金一封
岡村 一矢	小川11区	母／富喜子	金一封
井本 昭	弁天	母／光子	金一封
花岡 吉久	戎二	母／岡 富美子	金一封
む つ み			
松本 春代	後井	夫／利雄	金一封
奥村 正博	麻生	父／武雄	100,000円
岡崎 隆志	千石台1区	父／政生	金一封
須 佐			
大長 繁	松原	父／榮	金一封
中村美千代	浦西	母／サダ子	金一封
松岡ミツエ	沖浦	母／正子	金一封
田中 文人	山口市大内	母／ツル子	金一封
岩本 伸一	弥富8区	父／良雄	金一封
小原 久枝	山根丁西	夫／利典	金一封
西川 則義	下三原上	父／正夫	金一封
中村 信美	入江	母／美雪	金一封
旭			
増田 保夫	久年	母／春子	金一封
守永 義次	笛吹	母／フサ子	金一封
藤谷 芳久	深瀬	妻／千代子	金一封
福 栄			
山中 繁昭	蕪根	長男／吉昭	金一封
山根 勇	鎌浦	母／松子	金一封
野村 有二	京場	母／幸子	金一封
俵 文子	畑	夫／亀夫	金一封
鈴木 孝彦	生野	母／フジコ	金一封
山本 実	鎌浦	父／初吉	金一封
野原 茂樹	小野田	父／真	金一封
藤田 満子	榎屋	夫／武市	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
村上 恵子	美祢市美東町	社会福祉へ	30,000円
萩市立椿西小学校PTA 雑式町		社会福祉へ	30,222円
匿名			20,000円
㈱みなと山口合同新聞社 下関市東大和町		社会福祉へ	50,000円

氏名	住所	備考	金額
川上			
川上支部老連		社会福祉へ	金一封
旭			
(旬)アイフィット山口 山口市平井			10,000円
(香典返し・一般寄付合計 96件3,911,922円)			

物品寄付

物品名	氏名	住所
福 栄		
紙おむつ、肌着	俵 文子	畑

物品名	氏名	住所
須 佐		
未使用切手125枚	栃原 美都世	弥富12区
年賀ハガキ25枚	小川 千恵子	松原

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

お知らせ

事務所の移転

4月1日から次の事務所が移転しました。

- 須佐事務所 萩市須佐保健センター
萩市須佐4186
TEL 08387-6-2204
FAX 08387-6-3906
- はぎファミリー・サポート・センター
萩市総合福祉センター
萩市江向356-3
TEL 0838-24-0530
FAX 0838-22-2026

第5期 脳の健康「楽習会」開催

「脳トレ」でお馴染みの川島隆太教授、くもん学習療法センターによって、開発・科学的証明された方法で、今年も認知症予防教室を開催します。

- 募集期間 4月1日～5月8日
- 募集人員 20名
- 対象者 介護保険の認定を受けていない方
- 学習期間 6月3日～11月25日
毎週水曜日 10時～12時
- 会場 萩市総合福祉センター
- 会費 月2,300円(テキスト代込み)
- 申込み先 本所(TEL 0838-22-2289)

つながろう “ひまわりの種” プレゼント

昨年、萩市東部地域豪雨災害の復興を願い、阿蘇から送られてきた“ひまわりの種”を、田万川・須佐地域を中心に植え、美しいひまわりの花が咲きました。

その“ひまわりの種”を昨年、被災した広島市に送ります。東北から阿蘇へ、阿蘇から萩に、そして広島

へと復興の輪が広がります。たくさんの方の思いが詰まったひまわりの花。今年は、あなたの庭や地域の花壇に咲かせませんか。

種を希望される方は、4月15日より受け付けます。

- 萩市社会福祉協議会本所、各事務所へ申込みください。その場で直接お渡しします。
- 平日に社協まで取りに来られない方は、FAXで申込みください。受付後、郵送します。
記載事項：郵便番号・住所・氏名・電話番号
- 2種類のひまわりを30～40粒程度お分けします。数には限りがあります。なくなり次第、終了します。
- 各家庭で育て、収穫したものです。発芽しない種や生育状況が悪い種もありますが、ご了承ください。

ボランティア活動保険の加入

【ボランティア活動保険】

この保険に加入できるのは、ボランティア活動が対象です。ボランティア活動中のケガや損害賠償責任を補償します。

- 補償期間 加入手続き翌日～平成28年3月31日
- 掛金 基本タイプ 1名あたり300円より
天災タイプ 1名あたり450円より

【ボランティア行事用保険】

地域福祉活動やボランティア行事において、参加者のケガや賠償責任を補償します。

- 掛金 1名あたり28円(最低掛金560円)
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所

編集室

新年度を迎え、花壇にも春らしい花が咲いています。あたたかい陽気に誘われ、眠くなりそうですが、気を引き締めて毎日を送りたいものです。(も)

萩市家族介護者交流会

人生は潮干狩り
おおいた観光特産



一緒にリフレッシュしませんか

はぎ介護者家族会 会長 山本 五百子

私には8人の姉兄がいて、その末っ子として育ちました。姉兄のうち、2人が他界、3人が施設入所、1人が認知症なのですが、萩から遠く離れているし、何もしてあげられないのが現状です。私自身も夫に先立たれ、現在100歳になる姑は施設入所をしていますので、毎日様子を見に行くのが日課となっています。所有する田畑の管理にも近所のいろんな人の手助けを受けながら、自分自身の体調を崩すことなく過ごしています。

はぎ介護者家族会を知ったのは、夫の看護と姑の介護をしていたときです。ある講演を聞き、会に参加しました。会員の方からいろんな情報を聞いたり、話したりすることで、常日頃のストレスを発散しています。

この会では、毎月10日ごろ、おしゃべり会を行っています。家族が施設入所されている方、在宅で介護をされている方、認知症の家族を抱えている方など、家庭環境はさまざまですが、みんなが集まって、話したり聞いたりすることで、少しは悩みが解消しているようです。

また、年に数回、萩市から支援を受けたリフレッシュ交流会、健康と福祉に関する講演会などに参加しています。介護の参考になるビデオを見て、勉強することもあります。

現在、会員は50数名いますが、その中にはOBの方もおられます。介護の様子を聞くと、共感を持てることがあります。同じように悩みを抱えられていたこと、それをどのように乗り越えてきたのか、など参考になる話もあります。

最近では男性も入会され、男性ならではの話も聞くことがあります。一昔前のように、女性だけが介護をする時代ではなく、男女ともに介護者として活躍しています。

入会をお待ちしています。



近畿地域の福祉活動
Report
地域密着